

2016.3.19 07:04

循環器学会、被災医師ら復興状況を報告 宮城

第80回日本循環器学会学術集会が18日、東北大の川内萩ホール（仙台市青葉区）で開かれ、東日本大震災で被災した医師らが被災地医療の復興状況について報告した。

東北大の里見進総長は「被災地の人にとって『日本中の人々が震災を忘れていない』という強いメッセージになる」とあいさつ。

津波で2階建て病棟が全壊した滝田医院（岩手県大船渡市）の滝田有院長らも登壇した。滝田院長は震災の約1カ月後、高台に仮設診療所を開設し、現在もプレハブで診療を行っている。平成26年9月には医療、介護、保健・福祉など各分野の連携を強化しようと協議会を立ち上げた。滝田院長は「悲劇と苦難を乗り越え、住民本位の安心安全なネットワークを作りたいと思った」と話した。

©2016 The Sankei Shimbun & SANKEI DIGITAL All rights reserved.